

1. 年3回以上、緩和ケア研修会企画、実施の調整をする

実績：拠点病院3施設、ハートライフ病院、浦添総合病院、豊見城中央病院で開催済み。

評価：10点

次年度：継続。拠点病院以外の開催可能な病院と連携し修了者が増加するように強化する。又、拠点病院の研修医（2年目～5年目）の必修義務に対応できるよう支援する。

2. 緩和ケアフォローアップ及び在宅緩和ケア研修会を開催する

実績：緩和ケアフォローアップ研修会を平成27年3月7日（土）、沖縄県医師会館にて開催予定。

平成26年10月4日（土）第1回那覇市在宅ケアネット市民フォーラム開催済み。

評価：10点

次年度：緩和ケア研修会の概要が変わる為、再検討。

3. 在宅緩和ケア地域連携事業

- (1) 二次医療圏内の在宅医療支援診療所等のリスト及び在宅緩和ケア連携を患者家族に示せるマップの作成・メンテナンス

実績：更新中

評価：7点

次年度：継続

- (2) 症状緩和を目的とした緩和ケア関連の地域連携クリティカルパスの作成と運用

実績：作成済みだが、症例が1件しかなく運用が出来ていない

評価：5点

次年度：継続。がんセンターと医療支援センターで協議していく

4. 除痛率調査

実績：平成26年12月6日（土）に除痛率研修会開催済み。琉大、豊見城中央病院にて調査を実施。

評価：10点

次年度：痛みのスクリーニングと除痛率調査を行う。

5. 看取りを施設で行うための勉強会の実施

実績：今年度は勉強会を10回実施した。

評価：10点

次年度：継続

6. 緩和ケアの現状を分析し、ホスピス病棟をもつ病院、在宅医療との連携を把握する。

実績：ホスピス病棟や在宅医療者との交流会を行った。

評価：8点

次年度：緩和ケアの現状を分析し、ホスピス病棟を持つ病院、在宅医療との連携を把握する。

7. チーム医療体制の強化をするための基礎データ収集について

実績：がんリハビリ理学療法士、緩和薬物療法薬剤師の人数把握済み。

評価：10点

次年度：継続。データ収集を行う。

8. 緩和ケア認識の普及（一般向け）

実績：平成26年8月24日（日）開催の在宅医療セミナーへの支援を行った。

評価：10点

次年度：本島での講演会などの開催を支援、後援する。

9. 患者会への協力

実績：未実施

評価：0点

次年度：宮古と石垣で患者会を後援する。又は講演会を開催する。

10・行政との交流会を行う。

- ・年1回、行政との交流会を行う。

実績：未実施

評価：0点

次年度：「行政との交流会」とし、県職員や関連担当者との交流会を持ち、緩和ケアについて理解を深めてもらうよう支援する。

平成 26 年度第 3 回沖縄県がん診療連携協議会・緩和ケア部会議事要旨

[日時]平成 26 年 10 月 14 日 (火) 19:15～21:10

[場所] 琉球大学医学部附属病院 がんセンター

[参加者] 14 名：垣花真紀子 (沖縄県立宮古病院)、笹良剛史 (南部病院)、増田昌人 (琉大病院)、島袋恭子 (那覇市立病院)、親泊美香 (ちばなクリニック)、笠原大吾 (福寿薬局)、野村寛徳 (北部地区医師会病院)、栗山登至 (サマリヤ人病院) 福地 泉 (アドベンチステイタルセンター)、崎枝久美 (アドベンチステイタルセンター)、大湾勤子 (国立病院機構沖縄病院)、足立源樹 (那覇市立病院)、上田真 (沖縄県立中部病院)、喜納美津男 (きなクリニック)、

[欠席者] 4 名：棚原陽子 (琉大病院)、伊藤昌徳 (エムスリーマーケティング株式会社・ぼたん薬局)、尾崎信弘 (八重山病院)、新屋洋平 (中部病院)

[陪席者] 1 名：下地亜樹絵 (琉大病院)

< 報告事項 >

1. 商品説明会

冒頭で、がん治療学会のランチョンセミナーで注目を集めた「GM-Clean50」の商品説明会が製薬会社より開催された。

2. 平成 26 年度第 2 回緩和ケア部会議事要旨

笹良部会長より、資料 1 に基づき、「平成 26 年度第 2 回沖縄県がん診療連携協議会・緩和ケア部会」の議事要旨が報告された。

3. 終了した緩和ケア研修会について

資料の 2 に基づき、ハートライフ病院と那覇市立病院での緩和ケア研修会が終了した事の報告が笹良部会長よりあった。

足立副部会長と栗山委員より、ハートライフ病院と那覇市立病院の両方の研修会に参加したが、医師歴が長い方にも浅い方にもそれぞれに問題があるとの報告があった。

4. その他

足立副部会長より、10 月 12 日 (日) に開催予定だった浦添総合病院の A 日程が台風の為中止になったが、10 月 19 日 (日) の B 日程を先に受け、10 月 26 日 (日) に A 日程を開催する事を特例で県が認めたとの報告があった。笹良部会長より急な開催の為、受ける事の出来ない人は 11 月 22 日 (土) に開催予定

の豊見城中央病院の A 日程に空きがある為受けるようにとの指示がなされた。

<協議事項>

1. 部会委員の選考について

増田委員より、麻酔科准教授の中村清哉先生に部会委員になって欲しいとの推薦があり、委員の皆さんより承認された。

また、拠点病院の中の精神科の先生が部会に必要との意見があり、琉大精神科の外間宏人先生に入って貰うよう推薦があった。また、那覇市立病院、中部病院の精神科の先生方にも入ってもらえないかという打診があった。

2. 緩和ケア研修会修了者を、患者とその家族に対してわかりやすく情報提供することについて

資料 5-1 に基づき、琉大の緩和ケア研修会修了者一覧をポスターやチラシにし、玄関ロービー、全外来、全病棟に貼り出す予定であるとの報告があった。

足立副部長より那覇市立病院はまだ動いておらず、上田委員より中部病院は検討中との報告があった。

資料 5-2 に基づき、オレンジバルーンから研修会修了者へピンバッジを配布するという事がサイコオンコロジー学会で発表された。まだ、正式なものではないが今年度中の事業として拠点病院へ配布する予定であるという事が増田委員より報告された。しかし、医師以外のメディカルスタッフへ配布できるのかについてはまだ煮詰まっている状態であり、そこは問題点である。

県が独自にピンバッジを作る件は、委員の皆さんより国が作るのであれば無駄になるのでいいのではないかという意見があり、作らない方向で承認された。

3. 緩和ケアの普及開発についてハンドブックにオレンジバルーンのリーフレットを差し込むことについて

サイズが A4 だった為、ハンドブックに差し込む事は出来ないが、医師向けのリーフレットはぜひ医師に読んでもらいたいし、緩和ケア普及開発のリーフレットは患者に配布する計画を立てているとの報告が増田委員よりなされた。

4. 現況調査について

増田委員より琉大は緩和の部門で 7 つの出来ていない項目があったと報告された。出来ていない項目については次回の協議会で検討する事になった。

5. 今年度のフォローアップ研修会について

今年度も開催予定である。前回は追加モジュールの中から選び、緩和ケア基本研修会を修了した方へグループワークを入れたり、ボードを使ってセッションしたり、ミニロールプレイを入れてより深い内容で学んでいただくために、広報にも力を入

れ多くの参加者を集めたいとの要望が笹良会長よりあった。

6. 次回開催日程について

次回は 1月20日（火）19：00～開催予定である。

7・その他

中部病院で開催予定の緩和ケア研修会で、研修医が順調に参加しているのと、近隣の病院も合わせると参加が増える見込みである為、ファシリテータをお願いしたいという依頼が、上田委員よりあった。

また、各病院より10月6日～10月10日まで行われた緩和ケア週間の報告があった。

第4回 沖縄県緩和ケア研修会2014

日程 A日程:10月12日(日) AM9:00~17:55

B日程:10月19日(日) AM8:30~17:45

※A課程を終了後、1年以内に別の病院で行う研修会でB日程を受講することも可能です。

ただし、A日程を終了後、1年以内にB日程を受講しなければ修了証は発行されません。

場所

浦添総合病院 アルカディア 6階
浦添市伊祖四丁目16番1号(浦添総合病院同敷地内)

対象者

がん診療に携わる医師及び研修医 30名
薬剤師・看護師も受講可能。ただし、医師からの応募が多い場合は締め切らせて頂きます。

研修内容

講義・ワークショップ、ロールプレイ等
(がん性疼痛等の新対症状及び精神症状に対する緩和ケア、コミュニケーション)

申込締切

平成26年9月26日(金) 必着

(申込み書を以下の宛先までFAXで送信してください。)

※定員に達したい締め切ります。

～ 申込お問合せ先 ～



社会医療法人仁愛会 浦添総合病院

臨床支援課 譜久村(6557)

〒901-2132 沖縄県浦添市伊祖四丁目16番1号

TEL: 098-878-0231

FAX: 098-878-8434

E-mail: yfukumu2@jin-aikai.or.jp

主催: 浦添総合病院



第4回沖縄県緩和ケア研修会2014 報告書

作成：浦添総合病院、緩和ケア、新里誠一郎

開催日時：平成26年10月19日（日）B日程

10月26日（日）A日程（台風19号の沖縄本島直撃のため

10月12日（日）から延期）

主催：浦添総合病院

協力者：15人（講師9人、ファシリテーター6人）

受講予定者：27人（医師）、4人（その他）

受講修了者：第4回のAB課程修了16人（医師）

第4回のB課程修了で全課程修了5人（医師）、2人（その他）

1、プレテストの結果（回答者 A日程16人、B日程24人 【医師のみ】）

回答率ベスト1・・・(8) 麻薬使用に関する中毒、幻覚、予後等の問題(正解率94%)

2・・・(5) WHOのがん疼痛治療法について(正解率88%)

(7) オピオイドローテーションの問題(正解率88%)

(11) 呼吸困難の治療について(正解率88%)

(13) 骨転移の患者が息苦しさを訴えた場合の対処(正解率88%)

回答率ワースト1・・・(18) 悪い知らせを伝える場合のコミュニケーションの方法
(正解率18%)

2・・・(6) 各種オピオイドの特徴と選択の問題(正解率38%)

3・・・(3) 緩和ケアを専門に提供する機関について(正解率50%)

2、総合評価アンケート（回答者26人【医師以外も含む】）

① ワークショップにおける各項目についての理解度

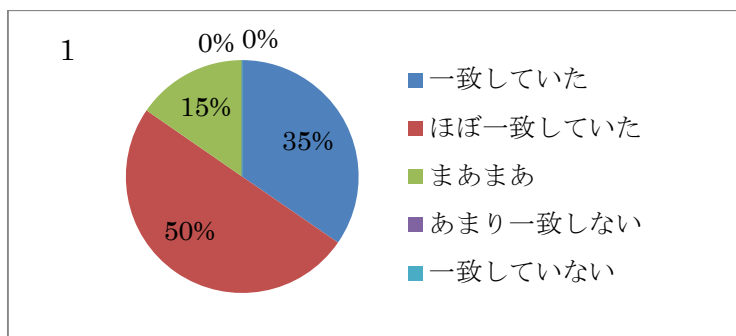
	十分理解 できた	普通	あまり理解で きなかった	無回答
1、緩和ケア概論	63%	33%	0	0
2、がん性疼痛	80%	20%	0	0
3、がん性疼痛事例検討	80%	13%	0	7%
4、オピオイドを開始する時	73%	27%	0	0
5、呼吸困難	73%	27%	0	0
6、消化器症状	65%	35%	0	0
7、精神症状	60%	40%	0	0
8、コミュニケーション	60%	40%	0	0
9、地域連携と治療・療養場 所の選択	41%	59%	0	0

② 特に興味を持ったワークショップ

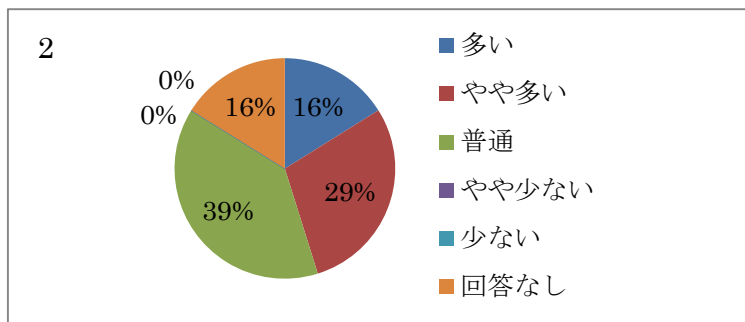
1、緩和ケア概論	1人
2、がん性疼痛	2人
3、がん性疼痛事例検討	4人
4、オピオイドを開始する時	4人
5、呼吸困難	5人
6、消化器症状	5人
7、精神症状	4人
8、コミュニケーション	7人
9、地域連携と治療・療養場所の選択	7人

③ セミナー全体評価

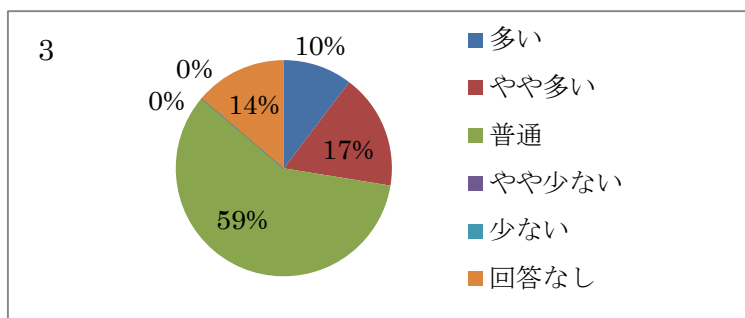
1) 自分の期待していたものと一致していましたか？



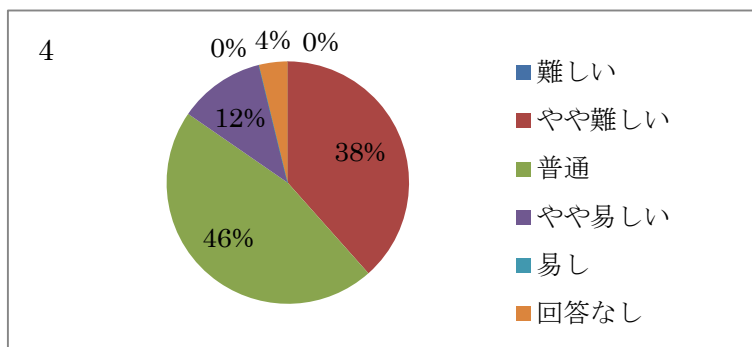
2) 作業量としてはいかがですか？



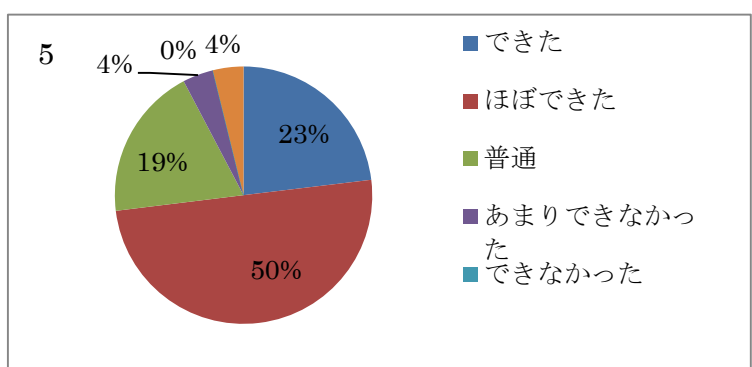
3) 作業量に比べて時間はいかがでしたが？



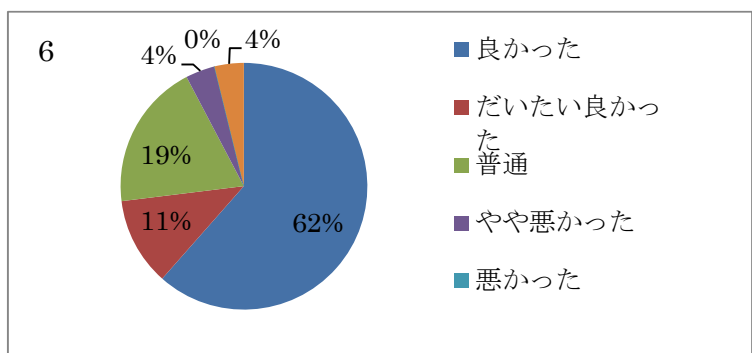
4) 難易度はいかがでしたか？



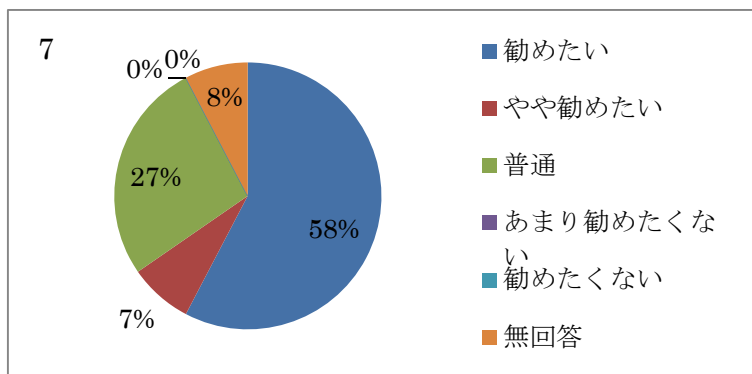
5) 積極的に参加できましたか？



6) ファシリテーターの仕事ぶりはいかがでしたか？



7) 今後、他の医師にも研修会の参加を勧めたいですか？



④ 次回に向けて改善した方が良くと思われるのも

コメディカルには少しハードルの高い部分がありました。

コミュニケーションスキルの実践的なスキルについて教えて欲しい。

沖縄県の地域医療や介護システムに関しても、もう少し立ち入った勉強がしてみたいです。

可能なら1日で終わるようにしたいのですが。

1日にできたら ありがたい。

休憩時間を減らして早く終わる方が ありがたい

ほんの少し、休憩やケース検討のグループ毎の間を少し短くしたら、もう少し早く終わると思いますが。

グループ学習でもう少し少ない人数でも良かった。

⑤ その他の意見、感想

現在の研修会の頻度を今後も維持して行って欲しい。

しっかり自分の意見をもって臨んでいきたい。

実際の臨床現場でよく遭遇する問題に対しての一つの指標となる内容でした。

とても勉強になりました。有意義でした。ありがとうございました。

スタッフの皆様お疲れ様でした。サポートありがとうございました。

2日間ありがとうございました。

がん診療に携わる医師のための

緩和ケア研修会 2014

参加者募集



◆ 主催 沖縄県立中部病院

A日程

B日程

平成 26 年 11 月 9 日 (日) 11 月 16 日 (日)

会場 沖縄県立中部病院 会議室

うるま市宮里 281 番地 tel:098-973-4111

対象者 がん診療に携わる医師及び研修医 50 名

医師以外の参加者 若干名

※ 医師の申込が多い場合は募集を締め切らせて
頂きます ご了承ください

研修内容 講義・ワークショップ・ロールプレイ など

「緩和ケア研修会」では 緩和ケアの基本を習得することが
できます また、終了した医師には厚生労働省健康局長より
修了証が発行されます ぜひご参加下さい

申し込み方法 所定の用紙に必要事項をご記入の上 Fax で申し込み
下さい 定員に達し次第締め切らせて頂きます

締め切り 平成 26 年 11 月 4 日(火)必着

お問い合わせ 沖縄県立中部病院 総務課 鹿取 (内線 3208)
TEL 098-973-4111 FAX 098-973-2703

第5回 沖縄県緩和ケア研修会2014 報告書

作成: 沖縄県立中部病院

開催日時: 平成26年11月9日(日)・平成26年11月16日(日)

主催: 沖縄県立中部病院

協力者: 22名(講師 10名、ファシリテーター 12名)

受講予定者: 医師 (26名)、その他 (10名)

受講終了者: 医師 (24名)、その他 (10名)

1 A課程 プレテストの結果(回答者 22人 医師のみ)

回答率ベスト1 (2)『終末期に大切にしたい事』に関する問題(正解率95.5%)

ベスト2 (5)WHOのがん性疼痛治療法に関する問題(正解率90.9%)

ベスト2 (11)呼吸困難の治療に関する問題(正解率90.9%)

ベスト2 (13)非小細胞肺癌患者に関する問題(正解率90.9%)

回答率ワースト1 (10)呼吸困難に関する問題(正解率36.4%)

ワースト2 (6)オピオイドに関する問題(正解率45.5%)

ワースト3 (4)症状評価と痛みの種類に関する問題(正解率50.0%)

2 総合評価アンケート(回答者 34人 医師以外も含む)

①ワークショップにおける各項目についての理解度

各項目の理解度	十分		普通		あまり理解できない		無回答		備考
①緩和ケア概論	22人	76%	6人	21%	0人	0%	1人	3%	A課程
②がん性疼痛	21人	72%	7人	24%	0人	0%	1人	3%	A課程
③がん性疼痛事例検討	20人	69%	8人	28%	0人	0%	1人	3%	A課程
④オピオイドを開始するとき	21人	72%	7人	24%	0人	0%	1人	3%	A課程
⑤呼吸困難	20人	69%	8人	28%	0人	0%	1人	3%	A課程
⑥消化器症状	13人	68%	4人	21%	0人	0%	2人	11%	B課程
⑦精神症状	12人	63%	5人	26%	0人	0%	2人	11%	B課程
⑧コミュニケーション	13人	68%	4人	21%	0人	0%	2人	11%	B課程
⑨地域連携と治療・療養の場	10人	53%	6人	32%	0人	0%	3人	16%	B課程

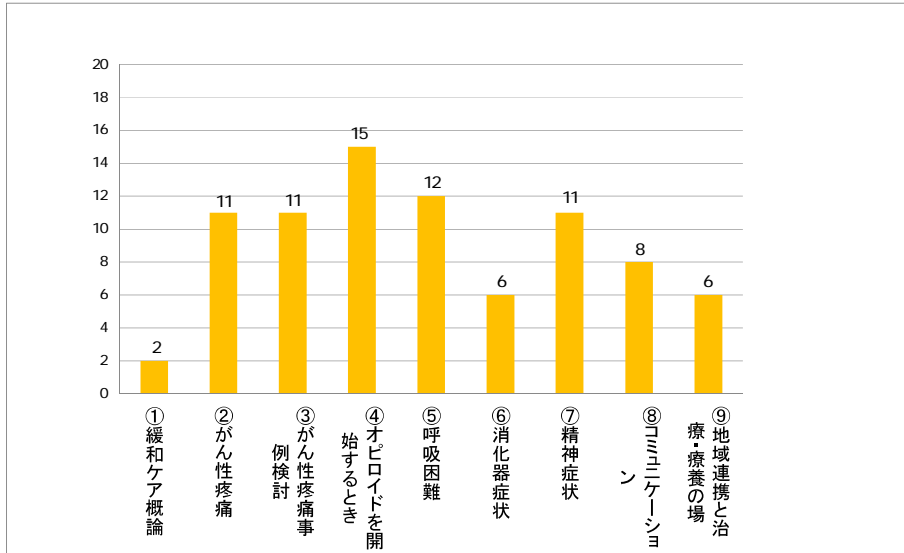
第5回 沖縄県緩和ケア研修会2014 結果集計

主催：沖縄県立中部病院

A課程：平成26年11月9日(日)9:25～17:45

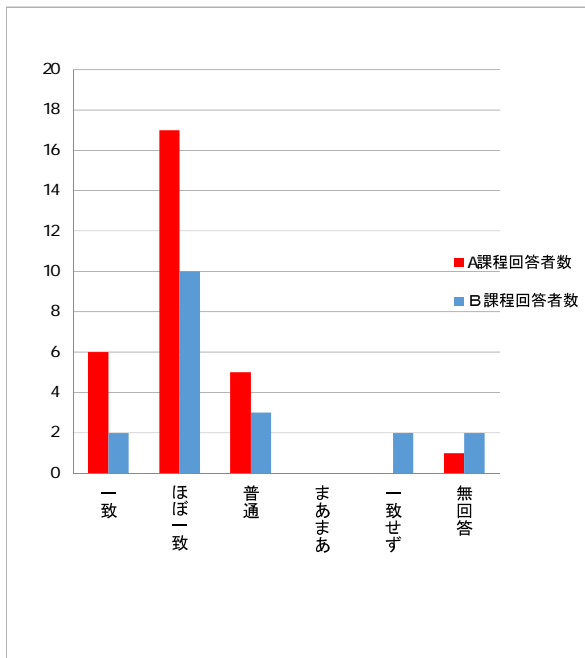
B課程：平成26年11月16日(日)8:30～17:15

②特に興味を持ったワークショップ

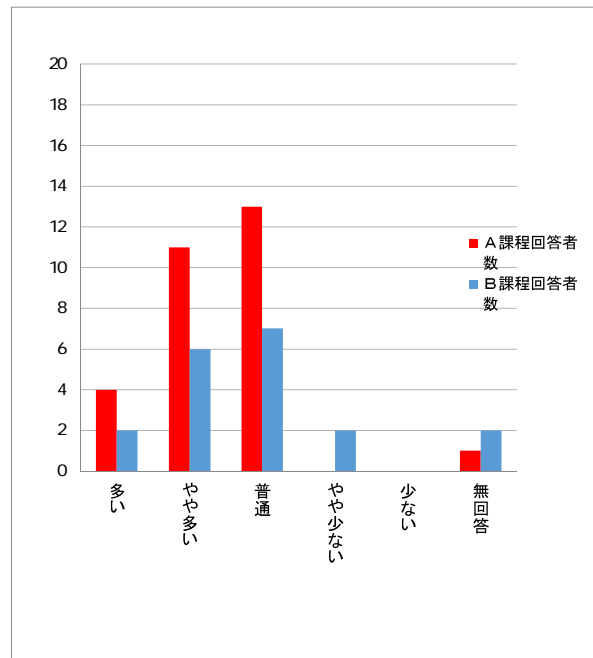


③セミナー全体評価

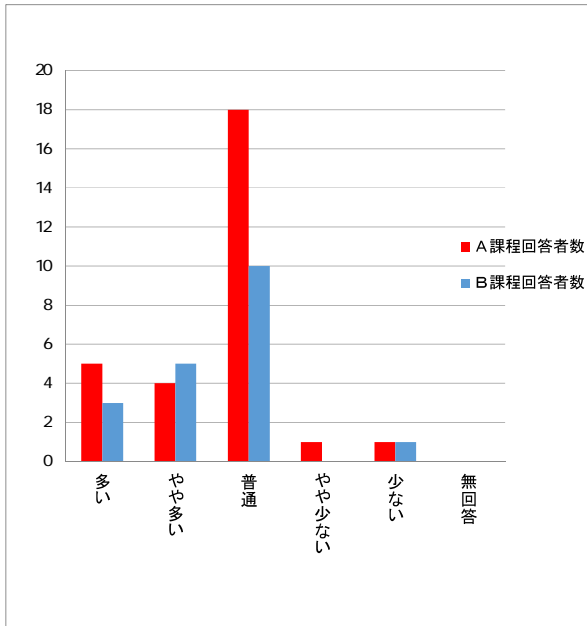
1) 期待と一致していたか



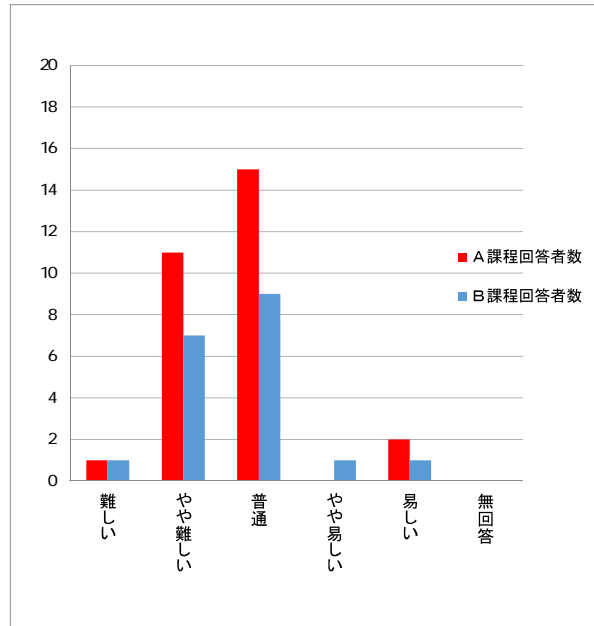
2) 作業量



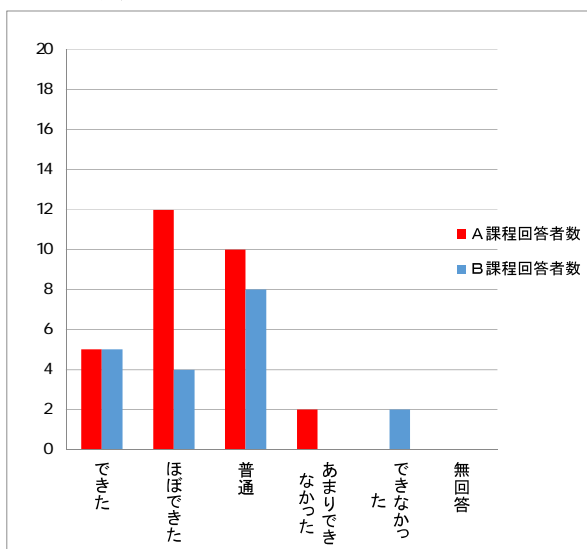
3) 作業量に比べての時間



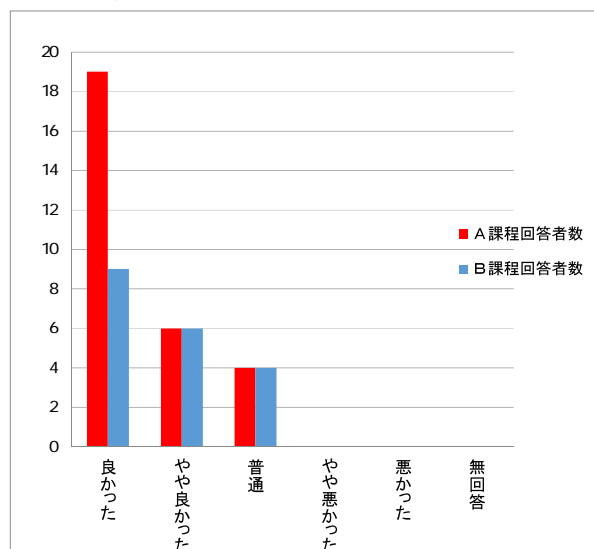
4) 難易度



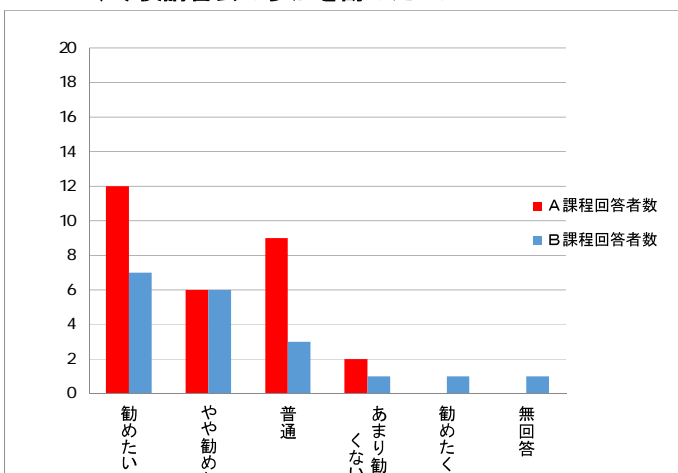
5) 積極的な参加



6) ファシリテーターの仕事ぶり



7) 今後講習会の参加を勧めたいか



に
い

め
た

は
い

第5回 沖縄県緩和ケア研修会2014 総合評価まとめ

主催：沖縄県立中部病院

A課程：平成26年11月9日(日)9:25～17:45

B課程：平成26年11月16日(日)8:30～17:15

Q4.次回に向けて改善した方がよいと思われる点について挙げてください。

- ・時間がなかったのもうちょっと余裕があればよかった。
- ・講義中はテーブルがあると記入しやすいのですが・・・
- ・ロールプレイは他職種まじえた方がいろいろな意見が聞けて楽しいと思います。
- ・病院・職種をもっとばらけさせた方がよいと思う。
- ・もう少し、コンパクトに。
- ・時間が早く終われば切り上げてタイトに行ってもよいと考えます。
- ・ロールプレイは楽しくできたが、目標をとらえるのが難しかった。
- ・もう少しロールプレイを短くしても・・・
- ・参加が厳しい。
- ・1日で終了して欲しい。休日による負担が大きい。病院によるサポートが必要。平日休日にするなど。
- ・時間短縮できると思います。
- ・作業量に比べて、時間が少なく感じた
「告知する・しない」のトピックもあればなお良いと思いました。(正解はないので長時間取り上げる必要はないと思うが、成功例・失敗例などあれば参考になると思う。)
- ・基礎的な内容が多いと思いました。基本は大切ですが、もう少し複雑なケースも学びたいと思います。
- ・Workshopの数を減らしてみてもどうでしょうか。
- ・在宅医療のディスカッションは論点をしぼりにくかった。在宅医療の～～における問題点など、問題点をしぼったほうがより良い議論ができたか。
- ・時間短縮できると思います。
- ・日程・職場の人手不足のなか、強制参加は厳しいものがある(2日も！！)

Q5.その他、意見、感想などございましたらご自由にお書き下さい。

- ・よかった。
- ・麻薬に対する知識の再整理することができた
- ・初めて聞く内容が多く、講義についていくのが大変だった。特にロールプレイは勉強になる事が多く良かった。
- ・とても勉強になりました。ありがとうございました。
- ・とても良かった
- ・日常業務ですぐに実践できそうな内容が豊富にあり、参加してとても良かったです。
ロールプレイは他の人がどのようにムンテラしているのかがみれて参考になった。緩和ケアについてしっかり学んだことがなかったので良い機会になった。
- ・大変勉強になりました。
- ・良かった。昼食はもっと短くてもOKです。
- ・知らない言葉も多く、勉強になりました。参加して良かったです。初めてのロールプレイで患者への説明の難しさを知りました。
治療には様々なパターンがあり、患者、家族、他のスタッフとも連携し正しい対応を探していければと思います。ありがとうございました。
- ・自分の知識不足が身にしみてわかりました。患者さんとコミュニケーションをとるため、幅広く分野を学んでいきたいと感じました。
- ・長い。
- ・わかりやすく学べて良かったです。
- ・1コマの長さが適切。
- ・ロールプレイ・事例検討は良かった
- ・勉強になりました。
- ・普段の患者さんとの接し方をふり返り、今後の診療に生かすという点で良かった。ありがとうございました。
話し方・沈黙・コミュニケーションの取り方を改めて学べました。“在宅”のワークショップは難しかったです。「緩和ケア」には幅広く多くの
問題点、チームでの関わりの難しさを知りました。
- ・ありがとうございました。
- ・勉強になりました。
- ・土・日と続けて受講できたらいいなと思いました。内容、タイムスケジュールともに良かったと思います。
- ・実践的だった。勉強になりました。ありがとうございました。
- ・今回のロールプレイは自分の職種の立場で出来たので前回に比べ実践に近く、大変勉強になりました。
- ・勉強になり、大変満足している。
- ・大湾先生の実体験、とても勉強になりました。
- ・本村Dr.のお話がとても興味深かったです。
- ・とても良かった。
医師対象の研修会なので、内容的に厳しい部分もありましたが、看護師として持つべき知識が得られ満足できる研修会でした。学び多い研修会でした。ありがとうございました。

主催：豊見城中央病院・南部病院

緩和ケア研修会

参加者募集のご案内

日時	場所
【研修会1日目】 ◆ 平成26年11月22日(土曜日) 9:30 ~ 18:30 【研修2日目】 ◆ 平成26年11月23日(日曜日) 8:30 ~ 18:00	◆ 豊見城中央病院 5F多目的ホール 住所：沖縄県豊見城市上田25番地 TEL：098-850-3811

- 対象：開業医師および勤務医師、研修医（2年目以後）、※診療科は問いません
がん診療に携わっている看護師、薬剤師、MSW、PT・OT等の医療従事者
- 定員：30名程度
- 申込締切：平成26年10月24日（金）※定員に達し次第、締め切らせていただきます
- 申込方法：申込用紙にご記入の上、下記へFAXでお申込みください
- 連絡先：豊見城中央病院 新川（総務課）
TEL 098-850-3811 FAX 098-850-3810
- 受講料：無料（但しお弁当代、茶菓費として2,000円：2日分を当日いただきます）

平成 26 年 12 月 1 日

沖縄県知事 殿

社会医療法人友愛会
理事長 比嘉 國郎 印

緩和ケア研修会実施報告書

下記の緩和ケア研修会について、「がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修会の開催指針」（平成 20 年 4 月 1 日付け健発第 0401016 号厚生労働省健康局長通知）に基づいて実施しましたので報告します。

記

- 1 緩和ケア研修会の名称：第 6 回緩和ケア研修会 2014
(社会医療法人友愛会豊見城中央病院会場)
- 2 主催者等
主催者：社会医療法人友愛会 豊見城中央病院
- 3 開催日及び開催地
 - (1) 開催日：平成 26 年 11 月 22 日
平成 26 年 11 月 23 日
 - (2) 開催地：沖縄県豊見城市
- 4 緩和ケア研修会の実施担当者
 - (1) 研修会主催責任者数：1 名
 - (2) 研修会企画責任者数：1 名
 - (3) 研修会協力者数：13 名
 - (4) 緩和ケア研修会の実施担当者の所属、氏名及び経歴：別添 1 のとおり
- 5 修了者の人数、氏名及び所属：別添「参加者名簿」のとおり

以上